

会議結果報告書

1 会議の名称

令和6年度第1回光市立図書館協議会会議

2 開催日時

令和6年7月10日（水） 13時30分～15時00分

3 開催場所

光市立図書館 2階 視聴覚室

4 出席者

6名（欠席2名）

5 公開・非公開の別

公開（傍聴人1名）

6 会議の議事録（要旨）

（1）教育長挨拶（代読）

（2）資格審査（委員8人中6人出席、協議会成立）

（3）会長、副会長選任

（4）会長、副会長挨拶

（5）議事

ア 議題1 令和5年度事業報告について

（事務局）

令和5年度事業報告について説明

（委員）

森林環境譲与税とはどういったものなのか、令和4年度と令和5年度の電子図書館の図書館費の違いは交付金によるものか、光地方史研究会の記念号の反響について、お尋ねしたい。

（事務局）

まず、森林環境譲与税というのは目的が森林整備の推進、森林整備の推進に

係る人材育成等担い手の確保に関するものに使われます。光市と一番関係があるのが、木材の普及促進となっています。木材と触れ合う機会を創出してその良さを体感してもらうために多くの市民が集う公共施設である図書館に関して地産地消による木造化木質化ということで、2階のヤングアダルトコーナーに木材を使った書棚を設けました。

(事務局)

交付金ではありません。令和4年度は電子図書館の普及のため、多くの予算がつかしました。

(事務局)

光地方史研究会の記念号については、大変反響が大きく、多くの方からご購入の問い合わせを頂いています。

イ 議題2 令和6年度事業の推進について

(事務局)

令和6年度事業の推進について説明

(委員)

高校生ボランティアが図書館まつり等様々な行事に参加していますが、中学のクラブ活動が地域移行化していく中で、図書館でクラブのようなものを設置して、中学生に呼びかけを行えば、その中学生が図書館でボランティアとして参加できるのではないのでしょうか。光市としては部活動の地域移行についてどのように進めていますか。

(事務局)

光市では図書館まつりに関しては、文化・社会教育課を通じて、中学生リーダーのボランティアへ依頼をし、中学生が図書館まつりに参加するという形を今とっています。

また、光市新市誕生20周年記念事業に関しては、図書館から実行委員の呼びかけを現在、行っているところです。

(会長)

委員の中に、現場の地域移行の状況に詳しい方がいらっしゃいますので、お話し頂けますでしょうか。

(委員)

部活動の推進、地域移行に関しましては、市教委で部活動改革推進室を昨年

度立ち上げて進めています。令和6年度から「スポーツ」と「文化」と、それから「その他」でそれぞれ会議があります。この読書推進活動に関しては、もしも進めて頂くとしたら「その他」というところに、入っていくのではないかと考えています。「スポーツ」がこれまでもありました中体連の大会に出場するスポーツ団体となり、「文化」は光文化協会に所属している団体というようなどころがありますので、「その他」に関してはボランティアであるとか、スポーツに親しむ目的でやっている団体、それから様々な地域とかかわる活動ということで今、ホームページでも紹介をされています。こどもたちも、今、中学2，3年生も入れますが、中学1年生から少しずつ会に所属をしているこどもたちが増えているというような状況です。

ウ 議題3 各委員からの提案事項等について

(ア) 市内書店との協力関係について

(委員)

全国的に書店の減少が続いており、書店がない自治体は4分の1にも上ります。市内書店との協力関係について教えていただきたい。

(事務局)

光市立図書館では、市内書店から年間を通して、雑誌を購入しています。令和5年度の実績ですが、850冊程となっています。市内の個人商店の書店は、以前は、3店ありましたが、今は2店になっています。次に、9月1日の光市新市誕生20周年記念事業の講演会で講演される柳田理科雄先生の著書のサイン会をするに伴って、市内書店に販売ブースの設置の協力をお願いしています。

(イ) 大和分館の状況について

(委員)

大和分館の人員体制ですが、非正規職員3名という体制は変わっておりません。現在は、どのようになっていますか。

(事務局)

ご質問の人員体制ですが、現在も、会計年度任用職員3名での体制は変わっていませんが、今年からは、司書有資格者で、経験年数の長い会計年度任用職員を1名配置しています。

(委員)

本館から大和分館へ人員を割くことはありますか。

(事務局)

3名体制で運営しているため、病気等で欠勤が出た場合は、本館から職員を派遣しています。

(ウ) 「ブックスタート事業」や「うちどくりスト」の事業の詳細について
(委員)

教育関係者としましては、こどもたちの読書活動を推進するための読書活動支援図書館としての事業として、ブックスタート事業についての手応えや、どういった絵本をどういった時期のこどもに配布し、どういった反響があるか。また、「うちどくりスト」について、中高生のご家庭にも配布しているのか、その2点をお聞きしたいと思います。

(事務局)

ブックスタート事業は、幼い時から本に親しみ読書の楽しさを親子に伝えるとともに、読書を通じて親子のふれあいを深めこどもの健全な成長を図ることを目的とし、令和元年度より開始しております。この事業は、光市子どもの読書活動推進計画第3次計画ではじめた事業です。

各自治体によりその方法は様々ですが、光市においては、図書館、子ども家庭課、健康増進課の3課が連携し、母子保健推進員さんが対象家庭を訪問した際に絵本等を配布しています。今年度、福祉保健部の組織編成があり、こども政策課とも連携します。

お届けしているのは、市長からのメッセージカード、絵本1冊、読書に関する情報冊子『赤ちゃんといっしょにはじめまして絵本』と布製バックです。

母子保健推進員を通じて、生後4か月を迎えたお子さんにお届けしています。

お配りする絵本1冊は、NPOブックスタートが選定している中から、まずは図書館で5冊選び、母子保健推進員の意見をもとに1冊を選んで、その年度に生まれたこどもたちへ届けています。母子保健推進員が図書館職員と一緒に本を選ぶことで、本を届ける際、ご家族の方への説明もしやすくなっています。

図書館としては絵本を選ぶ他に、0・1・2歳児向けのおはなし会の出前や、関係者への研修会の講師を担当するなどフォローアップに努めています。

次に「うちどくりスト」についてご説明いたします。小学生を対象に「うちどくりスト」を作成しております。テーマごとに発行しておりますが、年2回、春と秋の読書週間には、小学校から児童を通じてご家庭へ配布してもらっています。

「うちどく」とは、こどもと同じ本を読んで感想を話し合うものです。ご家庭で絵本を読み聞かせてもらったり、同じ絵本を読むことで本への興味や共通の会話を広げてもらうため、本のリストを作成しています。

第4次計画の基本理念は「つながる読書活動をめざして」としており、発

達段階に応じた取り組みを行うことでこどもと読書、そして、家庭、学校、図書館がつながるように努めています。

中学生への読書に関する情報提供としては、今年度より「YAだより」を学校を通じて配布しています。

(エ) 図書館移築 50 年の記念事業について

(委員)

ここに図書館が出来て 50 年になるのが再来年となりますが、その年になって準備したのでは間に合わないと思われませんが、図書館ではこういった準備を現段階で進めておられるか。日頃、図書館に来ない人が図書館に来るようなイベントができたらいいのではないですか。

(事務局)

開館 50 周年は令和 8 年 7 月になりますので、まだ少し時間があることから具体的な行事等は決まっておられません。今後につきましては今年 11 月 9 日に予定している図書館まつり後の図書館ボランティア活動協議会の会合で、図書館と図書館ボランティアでお互いがアイデアを出しあっていければと考えております。

(オ) 高齢者の読書離れ、本離れについて、また高齢者への電子図書館の紹介について

(委員)

だんだん小さな文字を読むのが辛くなって本を読まなくなったという話を周囲で聞くことが多く、高齢者の読書離れが進んでいるのではないかと危惧しています。大活字本もあるでしょうが、電子書籍が高齢者に必要なのではないか。高齢者にもっと知ってもらうことが必要なのではないのでしょうか。

(事務局)

高齢者の読書離れ、本離れについてですが、令和 5 年度の個人貸出点数は 218,032 点で、うち 70 歳以上における個人貸出点数は本館及び大和分館は 53,650 点となっており、個人貸出点数 24.6%を占めます。

また、令和 4 年度の個人貸出点数は 202,916 点で、うち 70 歳以上における個人貸出点数は本館及び大和分館 54,119 点となっており、個人貸出点数 26.7%を占めており、ともに 70 歳以上が個人貸出点数全体の 4 分の 1 を占めていることから高齢となってからも読書熱は冷めていないことが実感できます。

なお、高齢者に焦点を絞った電子図書館の紹介は行っておりませんが、電子図書館や令和 6 年 5 月 1 日から開始した電子図書館で 200 種類以上の雑誌が閲覧可能なデジタルマガジンの配信について掲示を行っています。また、

各コミュニティセンターでチラシの配布を依頼するなど周知に努めています。

(委員)

高齢者の図書館利用が多いという説明ですが、他の図書館にも共通しているところでは。むしろ若者の読書離れが心配です。

エ 議題3 その他

(委員)

高齢者の読書離れも心配ですが、こどもの読書離れはすごく気になります。

子どもたちは日中忙しく、家で本を手にする時間がないようですが、学校の朝読書は非常に楽しんで家で感想を聞かせてくれます。学校で本を読む時間を設けてくれているのは非常に貴重なことだと思います。ただ、高校ではそうした時間がなく、高校生にもそうした時間があったらいいと思います。

また、子どもたちにも純粋に楽しめることの一つとして読書の良さを知ってもらいたいと思っています。

(委員)

今回「うちどくりスト」をいただき、子どもと同じ本を読んで感想を話し合うのは非常にいいことだと思い、家庭でも実践したいと思いました。

(6) 連絡事項 令和6年度第2回光市立図書館協議会の開催日程について
(事務局)

それでは次回の開催日程ですが、次回は来年の2月に予定しています。

7 問合せ先

光市立図書館

電話番号：0833-72-1440